

名教データベース テスト結果のご報告

保護者の皆さまのページ

10月は、どの学年においても、テストがありました。小学生は、名教の「レッツ確認テスト&プレ漢検」。中高生は、学校の間接テスト。こうしたテストに向けて、日々勉強に取り組んでいる名教生の中でも、特に優秀な結果を出している子が多かったと感じます。一例をご紹介しますと思います。

レッツ確認テスト&プレ漢検	中間テスト
小学生	中学生
10月18日(土)実施	10月中旬～下旬実施
第3回レッツ確認テスト	2学期中間テスト学年順位
小3 180点/200点 小4 180点/200点	中3 5位
小4 200点/200点	中3 11位
第3回プレ漢検	中2 9位
小3 135点/150点 小3 130点/150点	中1 1位
小4 192点/200点 小4 191点/200点	中1 1位
小4 200点/200点 小6 189点/200点	個人特定となってしまうよう中学校名等は、掲載しません。



こうした成績をとれるのは、「もともと優秀だから」といった見方が一部にはありますが、ずっと努力を続けてきた成果なんだと私は思います。ねぎらってあげたいと思います。そして、さらに向上、維持できるように期待しています。一方で、上位ランキングではないけれども、得点や順位が1学期よりも向上した子もいます。これも、その子のがんばりです。ねぎらってあげたいと思います。

子どもたちの成績結果を振り返る時は、「相対評価」と「絶対評価」の両方の視点を持つことが大事だと思っています。やはり、ある程度の競争は必要です。集団の中で、高い位置をとれたことを評価してあげたいと思います(学年順位などの相対評価)。一方で、その子が、今までよりもどれだけがんばったかを評価することも忘れてはいけません。順位や得点が前回までと比較してどれだけ伸びたかを見てあげる視点も大切だと思っています。(西川)

塾長コラム あんぱんち

10月が終わります。秋真っ盛りですが、寒かったり、暑かったり、体調を崩してしまったり、やや目立ちます。そうかと思うと、半そで、半ズボン、真夏と同じ服装でいる小学生がいて、子どもは元気だなど感じます。そんな小学生は、学芸会や作品展の準備に一生懸命のようです。先日、ある子が、「役が決まったよ」と言いながら、一人で台本の全部を演じきる「一人学芸会」を演じてくれました。どんな役でもできるそうです。中学生も合唱祭の時期です。こうした行事の準備に取り組むことで、仲間とのつながりや一生懸命になることの大切さを学んでほしいと願います。

さて、ある中2男子生徒のお話です。学校からお母様へお電話が入ったそうです。授業中、ずっと寝ているとのこと。塾の授業では寝ていることこそありませんが、真剣かと言うと、？がつく態度です。塾のスタッフが本人と話をすると、悪い態度をとっていることは十分に理解できている様子。悪いと思っても、行動を良い方向に動かさない葛藤状態なのでしょう。この生徒が先日、中間テストに臨みました。やらなければいけない準備もぎりぎりまでやらない、声をかけないと取り組まないといったテスト対策期間でした。私が担当する理科については、前日によくスイッチが入りました。そんなテスト勉強で明日のテストに間に合うのかと何度も口にしたくなりましたが、そんなことを言っている時間ありません。それでも、前日は一生懸命に取り組みました。そして、先

日、そのテスト結果が出ました。塾に来るとすぐに、「俺、理科86点で、一番よかったわ!」と彼の報告です。その表情は、とてもすがすがしいものを感じました。今回のテスト勉強の取り組み方は、決してほめられるものではありません。他教科の問題も、授業態度の問題も解決していません。しかしながら、彼は今回の勉強と結果から何かを感じたはず。3年生に向けてこれを活かしてくれるはず。一律「勉強やりなさいっ!」「テスト勉強は計画的に!」は通用しない一例です。子どもの成長過程に応じた成長のさせ方を心がけていきます。

塾長 西川 陽祐

予定

- 10月29日(水)～11月3日(月) 休講
- 11月 2日(日) 中3愛知全県模試
- 11月 6日(木) 冬特訓!のご案内
- 11月 7日(金)～ 第4回テスト対策特訓!
- 11月10日(月)～ 個人懇談会
- 11月24日(祝) 通常授業日(中学生はテスト対策)
私立中学受験全国模試

